

国際看護学補完講義映像の作成と評価；プレテストの実施

Creation and evaluation of supplementary lecture videos for international nursing;
Implementation of pre-tests

○長嶺めぐみ¹, 大植崇², 辻村弘美³, 山田智恵里⁴, 森淑江³

Megumi Nagamine, Takashi Ohue, Hiromi Tujimura, Chieri Yamada, Yoshie Mori

1 群馬パース大学看護学部, 2 兵庫大学看護学部,

3 群馬大学大学院保健学研究科 4 前福島県立医科大学大学院医学研究科

Gunma Paz University, Department of Nursing, Hyogo University, Department of Nursing,

Gunma University, Graduate School of Health Sciences,

Fukushima Medical University, Graduate School of Medicine(retired)

【はじめに】

国際看護学を教授する上で、専門知識を持つ教員の確保が課題として挙げられる。我々は、全国に点在する国際看護経験者の知識と経験をサーバー上に集合させ、共有するシステムを構築し、人材不足の中にあっても網羅的な国際看護学の教授が可能になることを目指し、研究に取り組んでいる。第一段階では、全国の看護師養成機関に対して質問紙調査を実施し、どのような分野で教授上の課題を抱えているのかを明らかにした。第二段階として、補完の必要な分野のプレテスト版講義映像（以下講義映像）を作成し、その映像を実際に学生に視聴してもらい、理解度の確認等の調査を行ったので報告する。

【方法】

1. 作成した補完講義映像の選定と構成

1) 分野の選定

2020-2021年に行った調査の考察から、優先的に補完する分野を「文化理解」「在留外国人の看護」とした。

2) 講義映像の構成

選定した2分野のうち、「文化理解」は、基礎編と応用編の2部構成に、「在留外国人の看護」は、基礎編・コミュニケーション編・応用編の3部構成とし、全部で5本の講義映像を作成した。

3) 講義映像の時間設定

2020-2021年にかけて行った全国調査の結果から、講義映像1本あたりの時間を15分程度とした。

2. 講義映像の評価方法

講義の評価、有効性、満足度を、GoogleFormを用いた質問紙調査で行った。講義の評価は、講義内容のボリュームや講師の説明、スライドの質について、有効性は、ミニテストの正答率で評価を行った。

3. 対象者

A、B、C大学に在籍し、看護学を専攻する1-4年生に研究参加を募集した。参加の意思を示し、同意の得られた学生20名を対象とした。

4. 倫理的配慮

本研究は所属施設の研究倫理審査委員会の承認(PAZ23-39)を得て行った。また対象者には、書面を用いて研究内容や個人情報の保護等の説明を行った。

【結果】

講義の評価及び有効性を以下に示す。

1. 講義映像の評価

ボリューム、講師の説明、スライドについて回答を得た。以下に、5本の講義映像全体で得た回答数(人)と

割合を示す。全体の回答数は74(人)である。

1) ボリューム(n=74)

「多い・やや多い」と回答した学生は、9人(12.2%)、「ちょうどいい」と回答した学生は60人(81.1%)、「やや少ない」と回答した学生は5人(6.8%)であった。

2) 講師の説明(n=74)

「わかりやすい・ややわかりやすい」と回答した学生は66人(89.2%)、「普通」と回答した学生は6人(8.1%)、「ややわかりにくい」と回答した学生は2人(2.7%)であった。

3) スライド(n=74)

「わかりやすい・ややわかりやすい」と回答した学生は61人(82.4%)、「普通」と回答した学生は11人(28.4%)、「ややわかりにくい」と回答した学生は2人(2.7%)であった。

2. 講義の理解度(正答率)

ミニテストの正答率は表1の通りであった。

表1 各講義映像に実施したミニテストの正答率

	文化基礎編	文化応用編	在外基礎編	在外コミュ編	在外応用編
数(人)	9	9	17	19	19
質問数	7	6	6	7	7
中央値(%)	85.7	100	83.3	85.7	100
範囲(%)	57.1-100	83.3-100	66.7-100	71.4-100	85.7-100

3. 学生の満足度

満足度を聞いたところ、「満足・やや満足」と回答した数は全体で69人(93.2%)、「普通・やや不満」と回答した数は全体で5人(6.8%)（在外基本編3人、在外応用編2人）であった(表2)。

表2 補講動画の総合的な満足度

講義内容	文化基礎編	文化応用編	在外基礎編	在外コミュ編	在外応用編	合計	割合(%)
満足・やや満足	9	9	15	19	17	69	93.2
普通・やや不満	0	0	3	0	2	5	6.8

【まとめ】

講義映像の学生満足度は高く、ボリューム、スライドなどは大多数が良好との回答を得た。また、試験の正答率は、約90%であることから、本講義映像は有効である可能性が示唆された。

【利益相反】

本研究における利益相反はない。また本研究はJSPS科研費(20K10612)の助成を受けて行った。